

月刊



平成23年10月1日発行 通巻189号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・2011年～2012年今後の
CPD認定プログラム情報 … 2
- ・滋賀県応急危険度判定士
認定のお知らせ
- ・フォトコンテスト作品募集 … 3
- ・社団法人滋賀県建築士会
特別講演会 …………… 4
- ・女性委員会 DoシリーズNo.59
参加募集のお知らせ …… 5
- ・平成23年度近畿建築士会
協議会青年部会
第3回定例会議 …………… 6
- ・第8回ゴルフコンペ開催の
お知らせ
- ・10月の暦
- ・支部だより …………… 7
大津支部・高島支部・
湖南支部・湖北支部
- ・「あきんど号ラリー参戦記」
〈第10回〉 …………… 8
- ・おうみ賢人 (外村 繁)



おうみ賢人
(第2回)

外村 繁 邸(五個荘)

五個荘と聞くと「近江商人」とすぐに思い浮かべるが、湖国が生んだ作家外村繁の生家はその五個荘にある。外村繁は隣に建つ外村宇兵衛邸の分家の三男として生まれたが、長兄は本家の養子、二男は病没のため跡取りとなった。しかし文学への思いを捨てることができず、弟に実業を譲り執筆に取り組んだ。当時の近江商人の文化水準の高さを思わせる芸術家のひとりである。

(近江商人屋敷めぐりパンフレット抜粋)

2011年～2012年今後のCPD認定プログラム情報

講習・講座等内容の詳細につきましては、プロバイダーにお問い合わせください。

地域	日時	認定プログラム名	プロバイダー名	会場	単位
滋賀県	2011年11月2日	施工管理者等のための足場点検実務者研修	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	4
滋賀県	2011年11月11日	『東京スカイツリーの構造設計』特別講演会	社団法人滋賀県建築士会	Riseville都賀山	2
滋賀県	2011年11月26日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	調整中	3
滋賀県	2011年12月1日～2日	職長・安全衛生責任者教育	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	14
滋賀県	2012年1月9日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2012年1月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
京都府	2011年11月5日	建築計画におけるリアルチェックプレゼンテーション(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年11月12日	室内の光環境設計実践技術(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年11月16日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産業会館第一会議室	3
京都府	2011年11月19日	室内の光環境設計実践技術(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
大阪府	2011年11月10日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月10日	RC造編-基礎IIコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月11日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月11日	RC造編-基礎IIコース-耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月14日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月15日	特殊建築物等調査資格者講習大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月16日	特殊建築物等調査資格者講習	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	7
大阪府	2011年11月17日	特殊建築物等調査資格者講習大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	4
大阪府	2011年11月25日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎Iコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月26日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎Iコース-【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎IIコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	木のいえづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月10日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎IIコース-【第2日目】	財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6

滋賀県応急危険度判定士認定のお知らせ

滋賀県土木交通部建築課建築指導室
(事務取扱：社団法人 滋賀県建築士会)

本年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)という世界的に見ても非常に大きな地震であり、東北・関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

この度の地震において、被災した家屋に対し被災建築物応急危険度判定活動が実施されましたところ、8月1日現在で、98,212件の判定が実施され、延べ、8,834名の判定士が判定活動に携わりました。

滋賀県においても、本県が被災した場合や、近隣府県等が被災した場合に備えて応急危険度判定士の養成・登録を行っており、平成23年4月1日現在1,602名が認定されていますが、平成23年10月31日をもって有効期限が満了します。

本登録制度創設以降、行政の判定士の派遣実績はあるのですが、民間判定士の派遣の機会がなかなかない状況です。しかし、東日本大震災でも多くの判定士が活動しており、滋賀県が被災した場合は活動いただくこととなるため、更新の手続きをして頂きたいと思っております。

つきましては、応急危険度判定士の認定更新手続きをご案内致しますので、多数の方が引き続き更新いただきますようお願い致します。



■詳しくは…

社団法人 滋賀県建築士会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F

TEL.077-522-1615/FAX.077-523-1602 E-mail: shiga-sa@mx.bw.dream.jp



フォトコンテスト作品募集

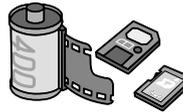
(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。今年のテーマは1部「フリー」、2部「棲み家(すみか)」で募集いたします。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ

1部 「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

2部 「棲み家(すみか)」



2011年 大賞「白壁と桜」

応募要項

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可
作品は未発表のものに限ります。また撮影時期、応募点数は問いません。(今回に限り、電子データによる応募も受け付けます。ただし、その場合は印刷等すべてお任せとなります。応募点数は1点のみです。)

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成23年10月~12月 **審査** イオンモール草津にて展示し、一般の人の投票によります。

発表 平成24年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(社)滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にお送りください。(必要事項を記入したメールによる応募も受け付けます。)

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL.077-522-1615

- 応募細則**
1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。
 3. 応募票に記載された個人情報は、当コンテスト以外には使用いたしません。
 4. 応募は会員・会員の家族とさせていただきます。

主催団体 社団法人滋賀県建築士会

滋賀県建築士会 2012年 フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	年
住所	〒	連絡先	

機関誌「家」2012年号 『会員の声』原稿募集

機関誌「家」2012年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。

詳しくは、(社)滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。

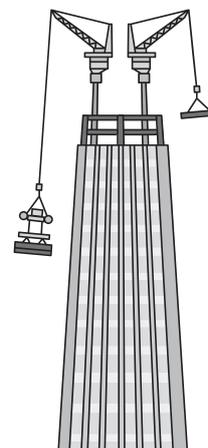
社団法人滋賀県建築士会特別講演会 『体験による後悔しない安全管理と快適職場』

元株式会社フジタ労務安全部長の西原五郎氏（滋賀県立彦根工業高等学校出身）をお招きし、『安全・知っておく注意点、全般・行政・健康』と題し、分かりやすい内容で建設会社・設計事務所の方々を対象に特別講演会を開催いたします。安全に直接携わられた貴重なお話しか聞けることと思います。



当講演会は建設業・建築士の方など、どなたでもご参加頂けます。
この機会に、多数の方々のご参加をお待ちしております。

- **日 時**：平成23年10月21日(金)
開場18:00 開演18:30 終演20:30
- **開催場所**：ピアザ淡海 3F 大会議室 滋賀県大津市におの浜1-1-20 TEL.077-527-3315(代)
- **参加費**：会員／1,000円 一般／2,000円(当日受付にてお支払いください)
- **定員**：150名<先着順> ※ 定員になり次第締め切ります。
- **講師**：西原 五郎 氏 <元株式会社フジタ労務安全部長>
1947年滋賀県東近江市生まれ
一級建築士、一級建築施工管理技士
RST（労務省方式現場管理者安全衛生教育トレーナー）
安全衛生責任者教育講師資格
- **主な工事**：県内：長浜キャノン 県外：野島断層保存記念館
- **CPD単位**：単位2単位（予定）
- **申込方法**：下部の申込用紙に必要事項をご記入の上、社団法人滋賀県建築士会事務局あてにFAXまたはメールにてお申し込みください。必ず会社名、連絡先（TEL、携帯番号等）をご記入ください。本申込用紙は当日必ずご持参ください。
- **主催**：社団法人滋賀県建築士会会員増強特別委員会
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1番18号 建設会館
TEL.077-522-1615 FAX.077-523-1602



「体験による後悔しない安全管理と快適職場」特別講演会 申込用紙

10月21日(金)

お名前	会社名	連絡先（TEL・携帯等）	区分
			建築士会 会員 一般
			建築士会 会員 一般

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

訃報

村上友一様 ご逝去

大津支部の村上友一様が去る9月17日にご逝去されました。村上様におかれましては前構築・連携特別委員会の委員長として公益法人化の礎を築いて頂き、当会の発展に大変ご尽力頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
尚、村上様、ご遺族様のご意志により、香典供花等全てご辞退されておられますので、会員の皆様には、その点をご配慮いただきますようお願い申し上げます。

水中乾燥材にみる家づくり



特定非営利活動法人「甲賀 森と水の会」が、森林資源循環システム構築活動の1つとして取り組まれている、水中乾燥を見学し、木の乾燥メカニズムを勉強します。また、水中乾燥材を利用した建築現場を見学し、作り手側の思いや施主への対応なども聞かせて頂きます。木造住宅の原点を再確認する機会です。多数の参加をお待ちしています。



●日 時：平成23年11月26日(土)

13:30～16:00(現地集合・現地解散)

●集合場所：甲賀森林組合事務所 滋賀県甲賀市土山町北土山361 TEL.0748-66-0015

●見学場所：甲賀森林組合周辺 ●募集人数：25人

●会 費：会員/¥500- 会員外/¥1000-

●申込締切：平成23年11月19日(土)

●日 程：13:30 参加者現地集合 甲賀森林組合事務所
 13:40～14:30 水中乾燥の講義 講師：定成正憲教授
 14:30～15:00 池や休耕田を利用して水中に浸している現場見学
 15:00～15:30 移動
 15:30～16:00 水中乾燥材を使用している建築現場見学
 16:00 現地解散



- 車でお越しの方/国道1号線より北土山東信号右折1分
- 電車でお越しの方/JR草津線より貴生川駅下車 あいくるバス土山方面行

DoシリーズNo.59 水中乾燥材にみる家づくり 11月26日(土)

会員/会員外	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)
会員・会員外		
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて…(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

平成23年度 近畿建築士会協議会青年部会 第3回定例会議

青年委員会 委員長 松井 俊郎

去る9月3日(土)に近建青滋賀会議が天津駅前前の滋賀ビルで開催されました。担当会長である滋賀の山本会長をお迎えし、綱領唱和のあと稲原部会長を中心に活発な意見が交わされました。

今年度は東日本大震災が3月に起こり、近建青の活動にも非常に大きな影響を与え、全国大会の中止、また福島県の建築士会青年委員会の状況などが報告されました。近建青会議は近畿二府四県を会場に毎年順番に開催され、滋賀の定例会議で3回目を迎えます。私も近建青の出向委員として2年目を迎えましたが、各府県の活発な意見に毎回勉強させて頂いております。

最後に各府県の状況報告がなされ、滋賀からは8月に開催されたペーロン大会の報告とお礼が中心となりました。滋賀会議に参加された各府県の出向委員様、オブザーバーとして参加頂いた滋賀の青年委員会の皆様ありがとうございました。



青年部会

第7回ゴルフコンペ開催のお知らせ

下記のとおり、今回で第7回目となりますゴルフコンペを開催いたします。日頃、出会う機会の少ない仲間と出会い、親睦と情報の交換ができればと企画しました。人脈を作る絶好の場です!ゴルフ好きの方!まだ初心者の方でもこの機会にぜひお集まりください!参加者の皆さんには気軽に大いに楽しんで頂きたいと思っております。特に青年層の方のご参加大歓迎です。みなさまお誘い合わせの上、ふるってご参加ください!お待ちしております。

- 日 時：平成23年12月9日(金) 雨天決行
- 場 所：甲賀カントリー倶楽部 湖南市三雲3354 TEL.0748-72-1221
- 費 用：未 定 ●募集人員：先着8組32名(定員になり次第締切)
- 参加申込：11月30日(水)までに下記申込欄にご記入の上、FAXかご郵送にてお送り下さい。
※参加者の方には、後日、詳細を送付いたします。



(社)滋賀県建築士会青年部会 第7回ゴルフコンペ申込用紙

参加者お名前	住 所
生 年 月 日	所属支部
参 考 H D	FAX番号

※後日詳細をご案内いたしますのでFAX番号の記載漏れにご注意ください。

(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602 郵送の場合:大津市におの浜1-1-18>

10月の暦

1 土 先勝	女性委員会	12 水 赤口		22 土 仏滅	
2 日 友引		13 木 先勝		23 日 大安	
3 月 先負		14 金 友引		24 月 赤口	
4 火 仏滅		15 土 先負	女性委員会20周年記念研修旅行	25 火 先勝	
5 水 大安		16 日 仏滅	↓	26 水 友引	
6 木 赤口		17 月 大安		27 木 仏滅	滋賀県応急危険度判定士講習会 <彦根会場>
7 金 先勝	理事会	18 火 赤口		28 金 大安	
8 土 友引		19 水 先勝		29 土 赤口	
9 日 先負	一級・木造建築士試験(設計製図)	20 木 友引		30 日 先勝	
10 月 仏滅	体育の日	21 金 先負	特別講演会『体験による後悔しない安全管理と快適職場』	31 月 友引	
11 火 大安					

大津支部

親睦旅行を開催

大津支部では9月10日(土)に28名の参加で、兵庫県の「龍野」、「姫路城」「明石の魚の棚」を巡る親睦旅行を開催いたしました。龍野は、保存が行き届いている古い街並みや、ちょっとした動物園、記念碑などの凝縮された散策コースで近県であるかゆえ、まさに『灯台元暗し』でした。昼食は“そうめんの里”にて本場「揖保の糸」を頂きました。やはり本場の味は格別でした。午後からの姫路城見学は、改修用に作られた建屋のエレベーターに乗り、最上階まで上がることが出来ました。真正面から見る事ができる姫路城の大天主は瓦が全て取り払われ工事の真最中でしたが、その大きさ、美しさ、細部にわたる先達の技術には、まさに圧巻でした。



セーフティチェック講習会を開催

大津支部では湖西滋賀支部様と共催で9月8日(木)、大津市立市民文化会館にて、27名の参加のもと、セーフティチェック講習会を開催いたしました。

セーフティチェックの内容を簡単に説明しますと「震災等の災害時に、予め勤務先、住所を登録している支部会員さんが、避難場所として指定されている公共建物（小学校、市民センターなど）に赴き、その建物が避難場所として使用できるかどうかを判断する。」というものです。

前支部長の頃より大津市と協議を重ね、今年、漸く協定締結の運びとなりました。第1回目の講習会としての参加者はあまり多くなく、また協定の内容も練り直しを必要とされる箇所が多々あるようですが、3月11日に発生した東日本大震災の被災地を鑑みれば、このセーフティチェックの担う役割は大変重要です。『いつ起こるか判らない大震災』というのは当座の事柄に比べれば、後回しや先送りになりがちですが、とにかく第一歩を踏み出したということにおいては大いに意義のある説明会でした。

高島支部

平成23年度 高島支部研修旅行

さる9月11日(日)～12日(月)にかけて、北九州の博多と門司に、会員と家族のメンバー15名で研修旅行に行ってきました。まず、初日は博多まで行き、市内の開発エリアである世界の建築家通りを散策し、福岡タワーに上り市内一円を展望しました。黒川紀章・出江寛・スタンリータイガーマンなど、世界の7人の有名な建築家による、商業施設と集合住宅街は、それぞれ個性がある建物なのですが、不思議に調和した美しい町並みを構築していたことに驚きました。建物の隣棟間隔もたつぷり取れていて植栽も大きくなっており、緑豊かな綺麗な町並みとなっていました。

次に、大宰府天満宮を参拝。建築士会と会員の皆様の繁栄をお願いしました。

翌日は、門司港まで移動し、門司港レトロ見学をしました。門

司駅・旧門司税関・はね橋などを見学しました。またレンガ造りの建物はちゃんと耐震補強がされており、違和感もなく古き良き時代の建物として、立派に残っており感動しました。見学の後、昼食を門司港地ビール工房で、地元名物料理「焼きカレー」を食べました。また、この地ビールはなんでも日本一の受賞を受けたばかりとかで、その味はカレーと非常に合い格別でした。

2日間とも残暑厳しく大変暑い日でしたが、博多の新しい建物と、門司の古い建物の見学を行い有意義な研修旅行となりました。そして一番の目的である会員相互の親睦が図れたことは、なにより良かったと思います。



湖南支部

第6回『こなんオープン』ゴルフコンペ開催される!

快晴、秋空のもと汗ばむような暑さの9月28日(木)朝日野カントリー倶楽部にて恒例なりました第6回『こなんオープン』ゴルフコンペが盛大に開催されました。参加者7組28名にて湖南支部はもとより、湖北、湖東支部からも多数のご参加をいただきました。当日は、申し分ない天気の中、好プレイ、珍プレイあり、多数の豪華賞品をお持ち帰りいただきました。次回も多数ご参加いただくことを願います。



湖北支部

第1回講習会「湖北の古民家の現状と活用」を開催

湖北支部では、去る10月1日(土)長浜勤労者総合福祉センター臨湖2階研修室に於きまして、「湖北の古民家の現状と活用」と題して、滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科教授 濱崎一志先生をお招きし、講習会を開催いたしました。

湖北に数多く残る独自様式を持つ古民家などの現状を解説いただき、建築に関わるものとして、これらの地域資産と呼べるべきものをどのように保存活用していくべきか、地域に根ざした建築士としてできることは何か、などを実際の保存活用を行っている湖北古民家再生ネットワークの活動などのスライドを交えて丁寧な解説いただきました。

本当に貴重な湖北の古民家を、未来における地域資産として残していくために、建築士として出来る事からやっつけていかなければいけないと、感じさせられた講習会でした。

第16回 湖北支部 親睦ゴルフコンペのご案内

秋の候、会員皆様には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は湖北支部活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。さて、第16回湖北支部親睦ゴルフコンペを下記の要領で開催させていただきますので多数参加下さいませ様ご案内いたします。

- と き 平成23年11月23日（水：勤労感謝の日）
 - と ころ 彦根カントリー倶楽部
 - 申込締切 平成23年10月25日(火)
 - 連絡先担当者 湖北支部 秋山信一 FAX：0749-65-1498
E-mail：s.akiyama@noveworks.jp 携帯：090-3059-8131
- ※詳細、申し込みは担当者まで連絡願います。

あきんど号ラリー参戦記

片山右京参戦!アジアンラリー

アジアンラリーは今年で16回目を迎える。これまでいろいろなモータースポーツで活躍している有名人も参戦している。その一人が、元F1パイロットの片山右京氏である。

右京氏はモータースポーツの最高峰であるF1では「カミカゼ右京」と呼ばれ日本を代表するレーシングドライバーである。彼は2005年と2006年にアジアンラリーに参戦した。日本人エントラントはもちろんの事、外国人までが右京選手の参戦に驚き、感動したのは言うまでもない。ラリーの車検会場では右京氏だけの特別な記者会見まで開かれ、テレビ局をはじめ多くのメディアが集まりお祭り騒ぎの状態であった。

2004年末 発生したスマトラ島沖地震による津波で、タイ・プーケットでたくさんの方が亡くなり被害を受けた事に対して、何かできないかと考えた右京氏が“冒険、チャレンジ、チャリティ”の一環としてタイをベースとするアジアンラリーに参戦を決意、右京氏自らオークションによる収益もすべて募金しようという思いで参戦したのである。アジアンラリーにはスタッフ30数名、タイヤは60本以上持ち込んでの参戦である。ちなみに、あきんど号は



2005年バンコクスタート
パタヤゴール3400km

履いているタイヤを含めて6本、最近はそれにホイルなしのタイヤを2本、多くても合計8本での参戦であり意気込みの違いを感じさせられた。チーム右京は、前半戦は想定外のトラブルやタイヤバースト等で苦しんだ、しかしジワジワと本領を発揮し、最終日には日本人最高位でフィニッシュ。さすが元F1パイロット、オフロードでも速かった。しかし、2006年2年目の参戦は、厳しい洗礼が待ち受けていた。マシンは最高、ドライバーも最高、メカニックも最高であっても勝てない、アジアンラリーはサーキットで速く走る選手であってもなかなか総合成績では結果が出せないのである。アジアンラリーでは、もう一つの要因「経験」が必要である事が顕著に現れたのであった。だから旧世代のラリーカーで、メカニック・サポートもないチームである「あきんど号」がそれなりの成績を残しているのかもしれない。この年は川渡りや、ヌタヌタのマッディなコースで「あきんど号」は後半自走出来ないくらい苦しいレース展開ではあったが、チーム右京より上位である総合13位の結果を残すことができた。



多くのエントラントが苦戦した深い川渡り

履いているタイヤを含めて6本、最近はそれにホイルなしのタイヤを2本、多くても合計8本での参戦であり意気込みの違いを感じさせられた。チーム右京は、前半戦は想定外のトラブルやタイヤバースト等で苦しんだ、しかしジワジワと本領を発揮し、最終日には日本人最高位でフィニッシュ。さすが元F1パイロット、オフロードでも速かった。しかし、2006年2年目の参戦は、厳しい洗礼が待ち受けていた。マシンは最高、ドライバーも最高、メカニックも最高であっても勝てない、アジアンラリーはサーキットで速く走る選手であってもなかなか総合成績では結果が出せないのである。アジアンラリーでは、もう一つの要因「経験」が必要である事が顕著に現れたのであった。だから旧世代のラリーカーで、メカニック・サポートもないチームである「あきんど号」がそれなりの成績を残しているのかもしれない。この年は川渡りや、ヌタヌタのマッディなコースで「あきんど号」は後半自走出来ないくらい苦しいレース展開ではあったが、チーム右京より上位である総合13位の結果を残すことができた。



右京選手とチームあきんど号の二人



チーム右京は30本以上のタイヤを準備



SSスタートを待つあきんど号横を象が通る

おうみ賢人

とのむら
外村 繁

昭和13年、住まいを東京阿佐ヶ谷に移し、井伏鱒二・青柳瑞穂・上林暁・太宰治などの阿佐ヶ谷の文士仲間とともに精力的に作家活動を行った。昭和10年「草筏」が芥川賞候補となり、「草筏」は昭和13年に完結し翌年に池谷賞受賞、太平洋戦争後、「筏」と「花筏」を発表し、草筏とともに「筏三部作」と呼ばれる。昭和31年「筏」野間文学賞受賞。「濡標」で第12回読売文学賞を受賞。現在、外村繁邸は五個荘近江商人屋敷のひとつとして見学することができ、外村繁の原稿や書斎などを再現している。また、土蔵には近江商人外村家ゆかりの品々が展示されている。

